

硬膜剤(二液タイプ)



株式会社 **ムラカミ**
http://www.murakami.co.jp

スクリーン印刷感光材用 硬膜処理剤

◆本社
〒130-0003 東京都墨田区横川5-3-10
TEL03-3625-8121(代) FAX03-3625-9752

◆株式会社ムラカミテクノ 研究開発部
〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台1-6-12
TEL:043-205-5861 FAX:043-205-5864

特徴

- 当社製感光乳剤、直間法フィルムの全てにおいて耐水性が向上します。
- 多湿条件下での印刷において耐刷性が向上します。
- 非極性溶剤に対する耐性向上は期待できませんが、版膜の強度が物理的に向上するため、水性インキ以外でも効果が期待できます。
- 版膜の強度が向上する為、防炎加工インキの耐性が向上します。
- 重金属などは、含まれていません。

出荷形態

- ・ A液、B液 セット 各1kg入
- ・ A液、DL液 セット 各1kg入



使用方法

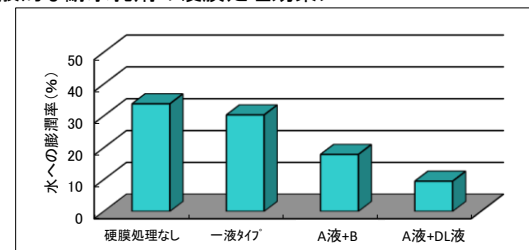
1. A液とB液又はDL液を同量ずつ混ぜ合わせて下さい。この際、金属容器は使用しないで下さい。
2. 混合した液を、スポンジ、ハケ等で両面に均一に塗って下さい。
露光不足気味の版は、薄膜を生じやすいので、硬膜処理前後に露光する事をお奨めします。
3. 1分程度放置し、硬膜液を版に浸透させて下さい。
4. ウェス等で余分な硬膜液を拭きとって下さい。余分な硬膜液が残っていると、薄膜を生じる原因となります。
5. 40~50℃で30分以上乾燥させて下さい。乾燥温度が低かったり、乾燥時間が少ないと効果は軽減します。
6. 硬膜処理後、水洗する事をお奨めします。

保管方法

- ・ 開封後は蓋をしっかりと締め、保管して下さい。
- ・ 混合後の液については、1週間以内にお使い頂ける様お願いします。

性能評価

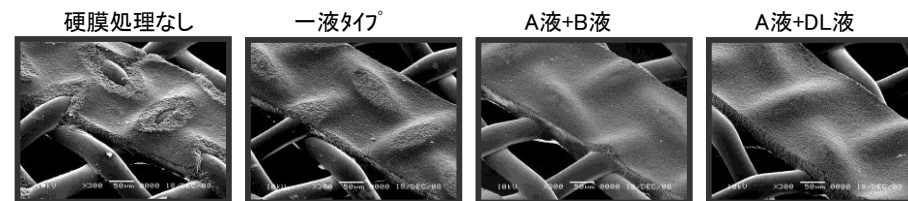
<一般的な耐水乳剤の硬膜処理効果>



* 製版後の版を24時間水へ浸漬させ、重量膨潤率(%)を測定。

<耐摩耗性比較>

- ・ 写真は、荷重1kgをかけて、製版の膜表面を水を含んだウェスにて100往復擦った後の膜表面状態を示す。



- * 耐水性UPの効果・・・ 良い A液+DL液 > A液+B液 劣る
- * 硬膜剤の臭気・・・ 弱い A液+B液 > A液+DL液 強い

使用上の注意

- ・ 本品は酸を含んでおりますので、使用する容器、機械には、充分考慮して下さい。
- ・ 取扱時には、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ・ 皮膚等に付着した場合は速やかに大量の水で十分に洗って下さい。
- ・ 目に入った場合は清浄な水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。
- * 製品を取り扱う前に製品安全データシートをお読み下さい。